

基本情報

指標番号

3012

名称

周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－頭蓋内血腫除去術

分母

頭蓋内血腫除去術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子

予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が2日以内の症例数

指標群

抗菌薬の適正使用

意義

抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

年度

2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

手術コード	手術名	2010	2012	2014
K164	頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの）	○	○	○
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	○	○	○

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 分母条件 I I 「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておらず手術実施日に投与されている症例。E/F ファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

薬価基準コード7桁	剤名	投与経路	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○

薬価基準コード7桁	剤名	投与経路	2010	2012	2014
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

- 手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が2日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が2日以内である症例数。
- 抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

その他

薬剤一覧の出力

いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

%

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

- 順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起病菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。
- 以前の指標では対象とする症例を病名も含め限定したが、本指標からは術式のみ注目し算出している。このため以前に算出した指標値との比較の際は注意が必要である。

参考資料

参考値

参考資料

- 「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313
- Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3. Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. *Am J Surg.* 2005 Apr;189(4):395-404.
4. WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.
5. Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-
6. 「術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン(追補版)」(2020) 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会